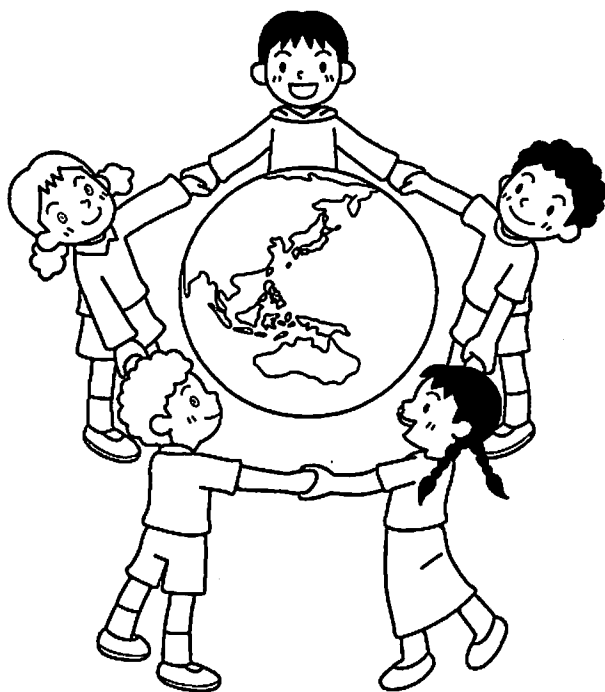


印旛地区教育研究集会 外国語研究部分科会

研究主題

みんなの英語
～伸ばせ、コミュニケーション能力～



平成29年8月23日(水)
佐倉市立臼井小学校
生方 秀子
櫻井 哲也

研究の概要

1 研究主題

みんなの英語 ～伸ばせ、コミュニケーション能力～

2 主題設定の理由

(1) 学校教育目標及び児童の実態から

学校教育目標

自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成

めざす児童像

「かしこく やさしく たくましく」

○勉強する子（知）

○やさしい子（徳）

○元気な子（体）

本校は今年度で創立145年目を迎えた。印旛沼のほとりに位置し、周囲は豊かな自然に恵まれた学校である。地域とのつながりも深く、様々な行事を始め、日々の教育活動にも、温かい支援を受けることができている。

本校では、学校教育目標の具現化を図るため、めざす学校像として「子どもにとって安全で安心な学校」「子どもにとって楽しく、魅力的な学校」「あいさつや歌声のひびく明るい学校」を掲げて、教育活動を行っている。

本校の児童は、明るく穏やかで、新しいことにも興味を持ち、喜んで取り組める児童が多い。学習の態度もまじめで、校外の活動でも、場をわきまえて、約束事をきちんと守ることができる。一方で、自らの考えを進んで主張したり、それをもとに行動したりすることには課題もある。

そこで、外国語活動に取り組むことにより、児童が豊かな表現方法を身につけ、他と関わる楽しさを味わい、進んで主張したり行動したりする態度を育てたいと考える。相手意識を持ち、自他の考えを大切にし、いつでも・どこでも・誰とでも、よりよいコミュニケーションを図ることのできる児童を育てたいと考え、主題を設定した。

(2) 小学校学習指導要領から

小学校学習指導要領では、外国語活動の目標を「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」としている。児童がその柔軟な適応力を生かして日本語とは異なる外国語の音に触れることで、言葉の豊かさや大切さに気付くことができると考える。また、注意深く言葉を聞いて相手の状況や気持ちを理解しようとしたり、他者に対して自分の思いを伝えるこ

との難しさや大切さを実感したりしながら、積極的に自分の思いを伝えようとする態度を育み、中・高等学校の外国語科で目指すコミュニケーション能力をも支えるような素地を養っていききたい。

(3) 社会の課題から

21世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われている。この知識基盤社会やグローバル化は、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性を増大させており、このような時代を切り開く人材の育成をめざし、英語教育の拡充強化が課題となっている。また、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックを控え、世界の国々から来る人々をもてなし、共に平和の祭典を楽しむことのできる日本人を育てることも望まれている。こういった時代の要請により、2020年には、3年生から外国語活動が始まり、5年生からは英語が教科として位置づけられることになった。

一方で、多くの小学校教員は、英語指導の専門教育を受けておらず、大きな不安を抱えていると思われる。しかし、どの学校でも実施しなければならない日は近づいてきている。どの学校でも、どの教員でも実施できる英語の指導はどのようなものか、先行研究を通してそれを探るべく、主題を「みんなの英語」とした。この「みんな」には、児童のみならず、教師も含まれているわけである。

3 研究の視点

【視点1】 ～ALTとの授業づくり～

ALTと担任との役割分担を明確にしながら、授業の活性化を図る。

①児童の実態にもとづくアプローチのために台本を考える。

②授業と評価の一体化 ～PDCAサイクル～

授業ではコミュニケーションの場を工夫する。

③学習の流れの明確化 (Hi, friends! を参考に)

④「書く」「読む」をどうもりこんでいくか、小中連携・小小連携により、指導内容を精選していく。

< 視点1について >

①ALT・JTEとの授業づくりは、児童の実態をよく知っている担任が中心となって授業を進めていくよう、シフトチェンジしていく。

②授業では、相手意識を持ち、「英語で〇〇する」ようなコミュニケーションの場を設定し、それを評価していく。また、振り返りカードを作成する場合は、以下の3観点から評価規準を設定し、その時間の目標に沿った項目の評価を行う。

(コ) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

(慣) 外国語への慣れ親しみ

(気) 言語や文化に関する気付き

③学習過程は5つ (Greeting・Warming up・Activity・Reflection・Greeting) にまとめる。

④「書く」「読む」ために「文字」に慣れていく。「読む」ためにはフォニックスも取り入れ、中学校英語へつなぐ。

【視点2】 ～教育課程の工夫～

積み重ね・繰り返しが十分にできるよう、教育課程を工夫する。

- ①モジュールでの取り組み
- ②年間指導計画の作成の工夫と見直し
- ③ALTとの打ち合わせ時間の確保

<視点2について>

- ①モジュールは担任単独でも実施していく。
- ②年間指導計画は昨年度末に見直ししたものを有効に利用する。実施しながら、指導計画についても評価をし、よりよい内容にしていけるよう、加筆修正していく。
- ③ALTとの打合せは、時間割に位置づけられた時間で行うが、行事等で行えない場合は、昼休み等を利用し、確実に実施できるようにする。

【視点3】 ～英語にひたる環境～

英語環境の整備をすることで、児童の英語への興味関心を高める。

- ①校内・教室掲示
- ②委員会活動
- ③クラブ活動
- ④クラスルームイングリッシュや他教科での英語活用
- ⑤スピーチコンテストへの参加

<視点3について>

- ①教室掲示は、曜日・天気など、日常生活で活用できる単語について、全教室同じものを掲示する。
- ②放送委員会が、給食時や清掃時に、英語によるアナウンスを行う他、各委員会でも活動の中に積極的に英語を取り入れていく。
- ③ALTと担当者として、英会話クラブの活動を行う。
- ④「クラスルームイングリッシュ」(全教室に配付)を参考に、英語の時間だけでなく、他教科や特別活動などでも英語を活用する。
- ⑤スピーチコンテストへの参加を募るとともに、コンテスト前には壮行会を行い、全校児童の英語への興味関心を高める。

4 これまでの取り組み

平成26～28年度

文部科学省 教育課程特例校指定

佐倉市教育委員会指定 研究モデル校

<平成26年度…計画>

A L T (Assistant Language Teacher) 2名とJ T E (Japanese Teacher of English) 1名とともに、「みんなの英語 ～伸ばせ、コミュニケーション能力～」を研究主題として研究に取り組み始めた。当初は、A L TやJ T Eに授業の流れや指導内容を提案してもらい、授業中の発問や指示も、多くの部分を担ってもらっていた。初年度ということで、理論研修や実技研修を行い、臼井小としての授業スタイルを模索した。また、授業における具体的な評価の場面も明確にしてきた。年度末には公開研究会を行った。

<平成27年度…実践>

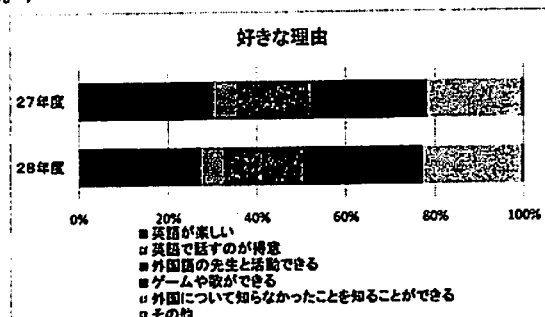
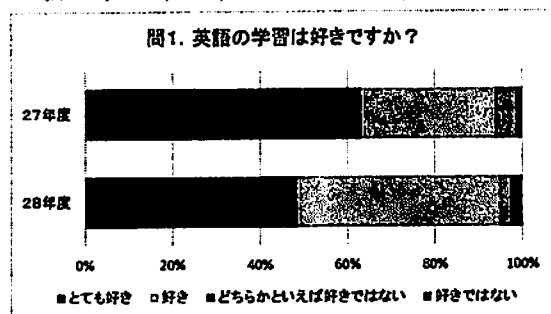
今後の外国語活動を見据え、担任が主となって授業づくりをするよう、シフトチェンジを始めた。前年度に課題となった点を改善しつつ、児童の実態をふまえた内容・流れを考えた。小中連携・小小連携として、臼井西中学校・王子台小学校（平成27年度より文部科学省教育課程特例校に指定）とともに、研究を進めてきた。年度初めには、小中連携会議を開いて情報交換を行ったり、授業研究会をお互いに参観したりすることで、小学校での学びを、中学校へ円滑につなぐことができることをめざした。年度末には、年間指導計画の見直しをし、段階的なおかつスパイラルに学習できるようにした。

<平成28年度…評価>

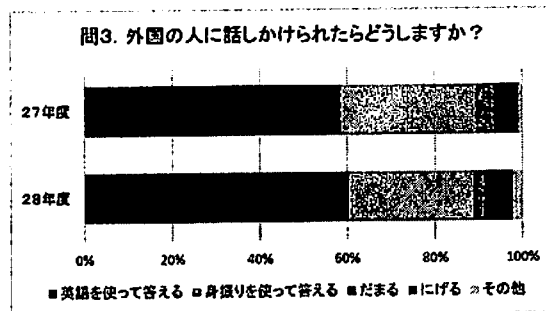
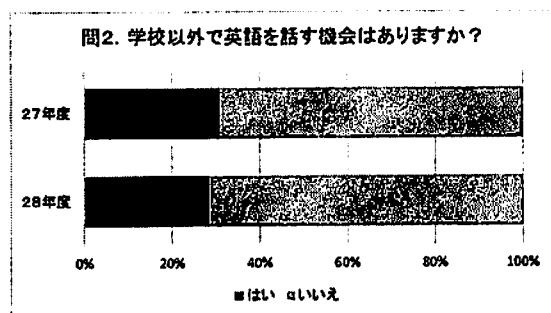
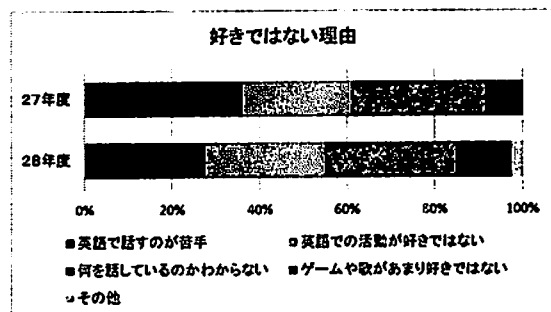
教科化を見据え、外国語活動における評価の仕方を再検討した。評価規準を精選し、児童の自己評価である「振り返りカード」の形式も統一した。また、5、6年生のモジュールを単元の中に位置づけ、ロングの授業の内容と関連させた内容で実施をするようにした。3年間のまとめとして、公開研究会を行った。

実態調査と考察

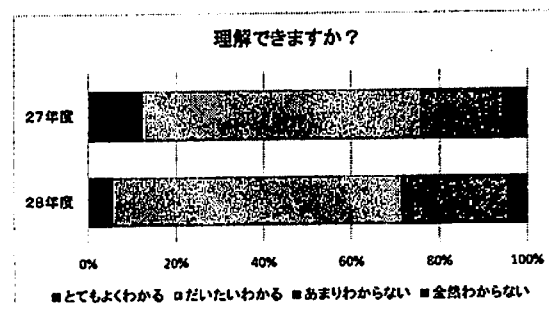
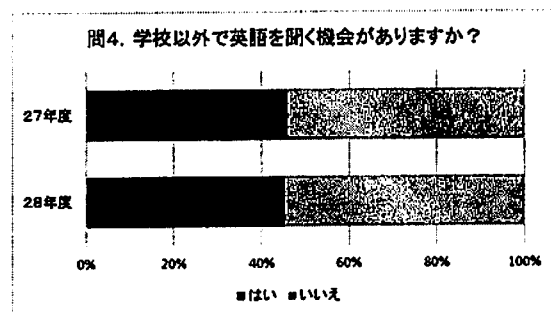
児童の英語に関する実態の変容をつかむため、実態調査を行った。なお、27年度は1～6年生で調査を行ったが、28年度は、1年生が年3回の授業のみになったため、2～6年生のみで調査を実施している。
(※2年生は、1年生時に年間15時間外国語活動を実施した。)



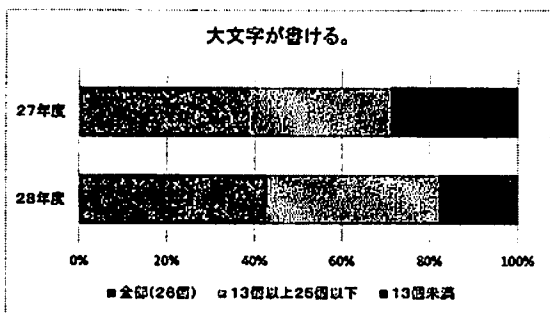
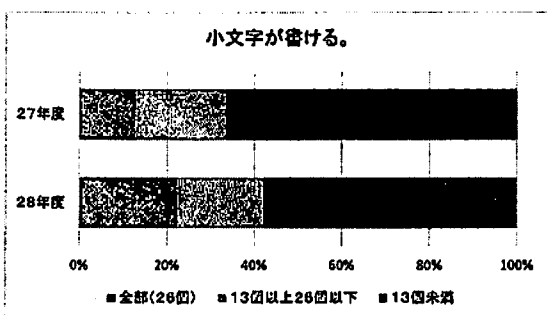
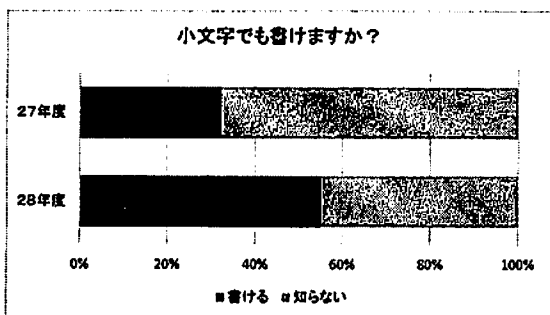
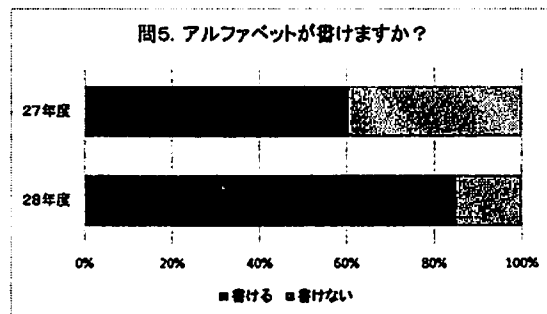
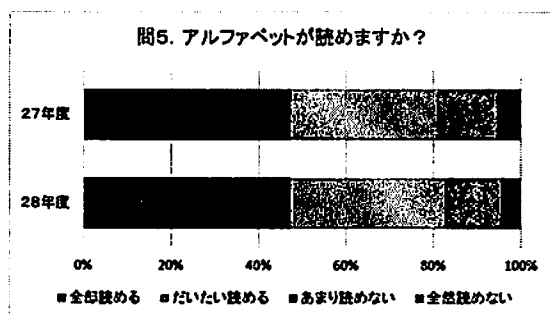
問1「英語の学習は好きですか」では、約90%が「とても好き」「好き」と肯定的な回答をしている。好きな理由は「英語が楽しい」「ゲームや歌ができる」等、様々な面を挙げている。「好きではない理由」では「英語で話すのが苦手」とともに「英語での活動が好きではない」「何を話しているのかわからない」という回答も多い。担任主導で授業づくりをしていく中で、児童の実態をふまえた内容や進め方を吟味していく必要がある。



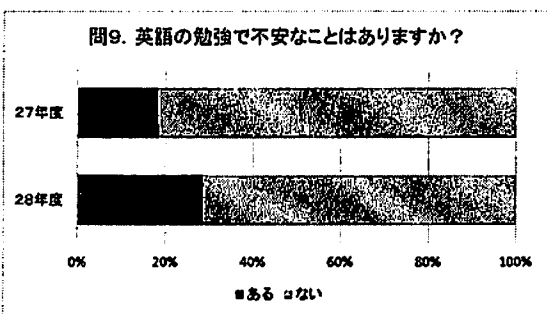
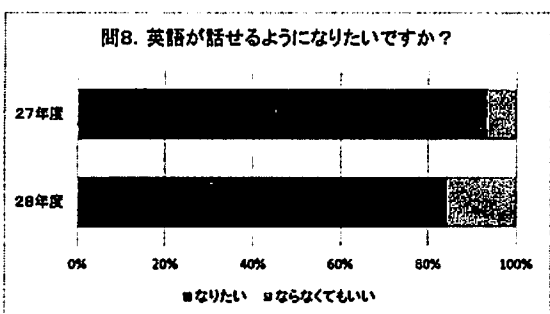
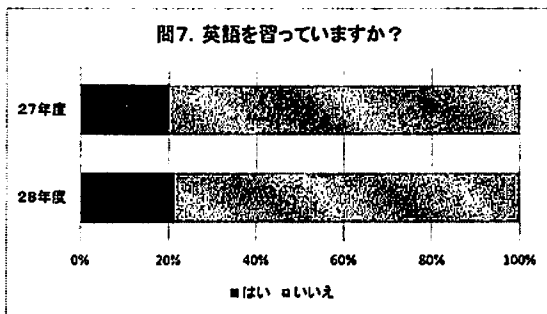
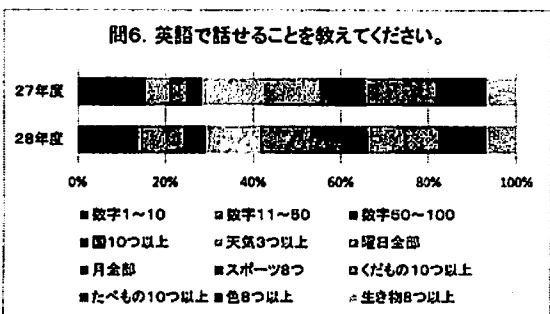
問3「外国の人に話しかけられたらどうしますか」では、「知っている英語を使って答える」「身振子を使ってがらばって答える」という回答が約90%を占めている。自分ができることを最大限に活用し、なんとかコミュニケーションを図ろうとしているようである。英語の学習を通し、自分の考えをもとに進んで行動する態度が育まれていると思われる。

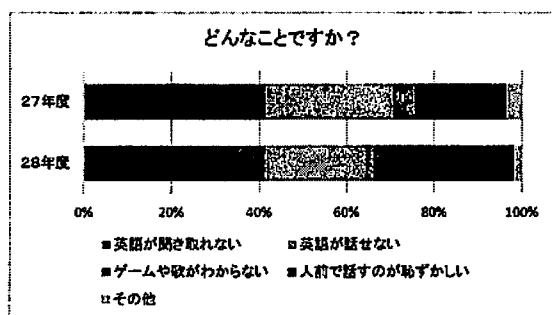


問4「学校以外で英語を聞く機会がありますか」では、「はい」が約40%だが、そのうち約70%の児童が「とてもよくわかる」「だいたいわかる」と肯定的に答えている。この回答については、高学年と中・低学年で差が見られた。高学年では、87%が肯定的な回答をしていたが、中学年では56%、低学年では62%となっていた。中・低学年では、学校以外で英語を聞く機会があっても、それを聞き取るのはやはり難しいと感じているのではないかと推察される。

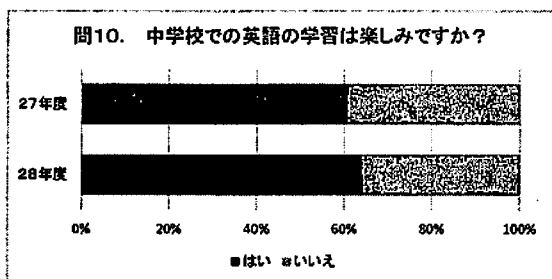


問5では、アルファベットの読み書きについて質問している。「全部読める」「だいたい読める」と答えた児童は約80%、「書ける」と答えた児童は約60%から約80%に増加している。掲示物などで日頃から英語に親しむ環境を整えたり、書く活動を、児童の実態に合わせながら、無理なく授業の中に取り入れてきたりした成果と考えられる。





問8「英語が話せるようになりたいですか」で、「なりたい」という回答が減少している。特に低学年では半数近くが「ならなくてもいい」と回答しており、理由は「使い道がない」「外国に行かない」等を挙げている。また、問9「英語の勉強で、不安なことはありますか」では、「ある」という回答の割合が増え、「英語が聞き取れない」とともに「人前で話すのが恥ずかしい」という理由が多くなっている。学習の目的を明確にし、個々の実態に合わせた無理のない活動で、児童に自信を持たせることが大切であるとする。



問10は小中連携を鑑み、6年生のみに質問している。中学校での英語の学習を楽しみにしている児童が平成27年度で約60%、28年度では約65%と増加している。理由としては「もっと新しいことを学びたい」「英語が好き」「自信がある」等を挙げている。英語の学習を積み重ねてきたことで、英語によるコミュニケーションができる楽しさがわかり、それが中学校での英語学習に対する期待

1 単元名 Lesson7 What's this?

2 単元について

本単元では、身近なものについて積極的に尋ねたり答えたりする中で、日本語と外国語の共通点や相違点に気付き、What's this?や It's～.などの表現に慣れ親しむことをねらいとしている。児童は4学年までの外国語活動の中で、相手に好きなものを尋ねたり答えたりする活動を行っており、授業の中で取り入れても円滑に会話することができている。そこで本単元では、クイズ大会をするというゴールを設定し、尋ね方や答え方だけではなく、身近なものを説明するための様々な言葉や表現にも触れさせる。語彙を増やすことで、言葉の面白さに気付かせ、児童の伝えたいという思いを高めていきたい。また、ペアで問題を共に考えたり発表や回答をしたりすることによって、一人での不安感を減らし、友だちとコミュニケーションを図りながら外国語に慣れ親しめるようにしていきたい。

3 単元の目標

- ・身近なものについて積極的に尋ねたり、答えたりしようとする。(コ)
- ・身近なものについて尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(慣)
- ・日本語と外国語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気付く。(気)

4 指導計画 (全8時間 モジュール4時間を含む)

	第1時	第2時	第3時	第4時 (本時)
主な活動内容	身近なものの英語での言い方を知ろう。 ○Songs ・What's this? ○Review ・色、形、形容詞の言い方を復習する。 ・身近なものの英語での言い方を知る。 ○Let's Chant ・What's this? ○Let's Listen ・単語を聞き取り、拡大された絵のどれかを答える。	What's this?や It's～.を使って、色々なクイズに挑戦しよう。 ○Songs&Tongue twister game ・What's this? を歌いながら、カードを並べる。 ○Review ・色、形、形容詞、身近なものの英語での言い方を復習する。 (視点2-②) ○Let's Chant ・What's this? ○Activity ・シルエットクイズ、漢字クイズ、パズルクイズを行う。	What's this? やIt's～.を使って、スリーヒントクイズで、尋ねたり答えたりしよう。 ○Songs&Tongue twister game ・What's this? を歌いながら、カードを並べる。 ○Review ・色、形、形容詞、身近なものの英語での言い方を復習する。 (視点2-②) ○Let's Chant ・What's this? ○Activity ・スリーヒントクイズをペアで行う。 ○Let's Play ・スリーヒントクイズを使って、ポインティングゲームを行う。	ジェスチャーやリアクションを使って、クイズ大会で尋ねたり答えたりしよう。 ○Songs&Tongue twister game ・What's this? を歌いながら、カードを並べる。 ○Review ・色、形、形容詞、身近なものの英語での言い方を復習する。 (視点2-②) ○Let's Chant ・What's this? ○Activity ・Three Hints Quiz ①ペアごとに作成したスリーヒントクイズを出す。 ②ヒントをもとにペアごとに回答する。
	・身近なものの言い方を確認する。 ・形容詞を確認する。(視点2-①) ・キーワードゲームをする。	・色、形、形容詞を復習する。 ・キーワードゲームをする。 ・クイズ大会の問題を考える。	・What's this?ゲームをする。 ・ヒントを考える。 ・スリーヒントクイズの発表練習をする。	・残りのスリーヒントクイズに取り組む。

評価規準	・日本語と英語で同じ言い方をするものと、異なる言い方をするものがあることに気付いている。 (気)〈行動観察・振り返りカード〉	・色々なクイズを通して、絵や言葉から身近なものについて考えたり答えたりしようとしている。 (コ)〈行動観察・振り返りカード〉	・スリーヒントクイズを通して、ヒントからそのものが何かを尋ねたり、答えたりしようとしている。 (コ)〈行動観察・振り返りカード〉	・クイズ大会を通して、学習した言葉で友だちに分かりやすく伝えたり、応えたりしている。 (慣)〈行動観察・振り返りカード〉
------	---	---	---	---

5 本時の目標

- ・クイズ大会を通して、身近なものについて尋ねたり答えたりしている。(慣)

6 本時の展開

過程・時配	活動内容	HRT	※評価	ALT	教材・教具
Greeting (5)	○あいさつをする。 ・English リーダーが中心となってあいさつをする。 ・天気、曜日を確認する。 ○Small talk を行う。 ・What did you eat for breakfast? ・ALTからの質問に答える。	・児童と天気や曜日をやりとりする。 ・学習の流れを掲示しておき、児童が見通しを持って取り組めるようにする。(視点1-③)		・正しい発音でやりとりを確認する。 ・色や形、形容詞に関する Small talk をする。 ・児童へ質問を投げかける。	・学習の流れの掲示 ・天気・曜日カード
Warming up (10)	○Songs&Tongue twister game ・What's this? を歌いながらカードを並べる。 ○Communication Time ・今までに学習した様々な言い方を確認する。 ・質問カードを持って友達とやりとりをする。 ○Review ・色や形、形容詞の言い方を復習する。 ○Let's Chant ・What's this?	・Tongue twister のカードが並べられているか確認する。 ・今までに学習した様々な言い方を使って、児童とやりとりをする。(視点2-②) ・児童の様子を見て回り、友達とやりとりができていない児童に声をかけて活動できるようにさせる。必要があれば、やりとりを行う。 ・児童と一緒に発音の練習をする。 ・第2時から継続して、同じ単語を用いて確認する。(視点2-②) ・児童と一緒にリズムに合わせて言う。		・Tongue twister を正しい発音で練習する。 ・今までに学習した様々な言い方の手本を示す。 ・HRTと一緒に児童の様子を見て回り、発音を確認する。 ・フラッシュカードを用いて、色や形、形容詞の発音の手本を示す。 ・児童と一緒にリズムに合わせて言い、正しい発音ができているか確認する。	・電子黒板 ・質問カード ・フラッシュカード ・デジタル教材 ・電子黒板
Activity (23)	○学習のめあてを確認する。 ジェスチャーやリアクションを使って、クイズ大会で尋ねたり答えたりしよう。	・学習のめあてを黒板に提示し、明確にする。(視点1-②) ・「ジェスチャー」「リアクション」のめあてを確認する。			・学習のめあて

	・HRT と ALT とのデモンストレーションを見て、本時の活動を知る。 ・ALT の発音を聞いて練習する。 ○Activity ・Three Hints Quiz ①拡大したもののカードを見せ、3つのヒントを出す。 ②ヒントをもとに、ペアごとに回答用紙に単語を書く。 ③正答数を確認する。 ・学習した言葉を用いて友だちに分かりやすく伝えていたペアは、前に出て、問題を出したり答えたりする。	・ALT と一緒にデモンストレーションを行い、児童が見通しを持てるようにする。 A: What's this? B: Hint, please. A: Hint No.1 ○○○ A: Hint No.2 ○○○ A: Hint No.3 ○○○ B: It's a(an)~. A: Good/Nice/Wonderful/perfect/That's right. A: Please write your answer. A: Please open. A: The answer is ~. Do you like ~? B: Yes, I do./No, I don't. A: That's all. Thank you.	・HRT と一緒にデモンストレーションを行う。	・会話文の提示
		・各ペアを見て回り、回答することが難しい場合には、支援をする。(視点1-②) ※クイズ大会を通して、学習した言葉で友だちに分かりやすく伝えたり、応えたりしている。(慣)(行動観察・ワークシート)	・各ペアの出題の仕方を見て、正しい発音ができているか確認する。発話することが難しい場合は支援をする。(視点1-②)	・Three Hints Quizの写真
Reflection (5)	○本時の活動を振り返る。 ・振り返りカードを記入する。	・振り返りカードに記入しているか確認する。 ・今日のめあてや、わかりやすく伝えるための工夫などに目を向けて書けるように支援する。(視点1-②)		・振り返りカード
Greeting (2)	○あいさつをする。 ・English リーダーが中心となってあいさつをする。	・一緒にあいさつをする。	・一緒にあいさつをする。	

Three Hints Quiz



Answer

Name

&

What's this?

Hint No.1:

(色)

Hint No.2:

(形)

Hint No.3:

(形容詞)

Special Hint!!

Please write your answer.

OK?

Are you ready?

Please open.

The answer is

Do you like

That's all. Thank you.

Really?
Me, too.

ひかり学級 外国語活動指導案

指導者 HRT1 生方 秀子
HRT2 中山 紀行
JTE サトリョ万貴子
支援員 窪田恵美子
垣永恵理子

1 単元名 Let's enjoy HARRY POTTER's magical world.

2 単元について

本単元は、生活単元「一部会学習発表会の準備をしよう」と関連づけ、英語を用いた劇ができることをねらいとしている。本学級は、一部会学習発表会で、長年マジックを披露してきたが、2年前からは英語を使った演技を始めた。これにより、児童は人前で表現することや、英語で話すことに自信と意欲を持ってきている。今年度はさらに楽しく魅力的な発表をするために、マジックを劇の中に組み込むことにした。そこで、子どもたちが興味を持っている、ハリーポッターを主人公にした内容で劇をつくる。単元を通し、「見ている人によくわかり、おもしろいと思ってもらうにはどうしたらよいか」という相手意識を常に持って、活動させたい。そして、自分たちも演技することを楽しみつつ、伝わった、楽しんでもらえたという体験を積み、コミュニケーション能力をさらに伸ばしていきたい。

3 単元の目標

- ・友だちと協力し、見ている人によく伝わる演技をして楽しもうとする。(コ)
- ・劇のあらすじが分かり、場面や状況に合ったせりふや表現に慣れ親しむ。(慣)
- ・身近なところで英語がよく使われていることに気付く。(気)

4 指導計画 (全6時間)

	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時(本時)
主 な 活 動 内 容	ハリーポッターの劇をつくろう。	劇で使う言葉の練習をしよう。	役割を決めて劇の練習をしよう。	役割を決めて劇の練習をしよう。	役割を決めて劇の練習をしよう。	友だちと仲よく楽しく劇の発表をしよう。
	○ Phonics (3～4文字の単語について、文字と音が一致するよう、これまでの学習を振り返りながら練習する。) ○ 動作をしたり、一緒に発音したりしながら、絵本の読み聞かせを聞く。					
	○ Activity ・劇やマジックで使う言葉を知る。 ・ハリーポッターが登場する劇をつくる。 (マジックをする・歌を歌うなどの活動を盛りこむ。) (視点1-②)	○ Songs 劇の中で使う歌 ○ Activity ・劇で使う言葉をおさらいし、絵と文字をマッチングさせる。 (視点1-④)	○ Songs 劇の中で使う歌 ○ Review ・劇で使う言葉のおさらいをする。 ○ Activity ・役割を決め、言葉や歌の練習をする。 (視点2-②)	○ Songs 劇の中で使う歌 ○ Review ・劇で使う言葉のおさらいをする。 ○ Activity ・役割を決め、言葉や歌の練習をする。	○ Songs 劇の中で使う歌 ○ Review ・劇で使う言葉のおさらいをする。 ○ Activity ・役割を決め、言葉や歌の練習をする。	○ Review ・劇で使う言葉のおさらいをする。 ○ Activity ・劇の発表をする。 ・友だちのよいところを話し合う。
評 価 規 準	・劇やマジックで使う言葉を聞いたり、教師をまねて言ったりしている。 (コ) <行動観察>	・劇やマジックで使う言葉を大きな声で言っている。 (慣) <行動観察> ・身近なところで英語がよく使われていることに気付いている。 (気) <行動観察>	・自分のせりふを大きな声で言っている。 (慣) <行動観察> ・友だちのせりふをよく聞いて意味を理解している。 (慣) <行動観察>	・友だちと協力し、見ている人の方を向きながら話そうとしている。 (コ) <行動観察> ・あらすじに合わせ、自分のせりふを大きな声で言っている。 (慣) <行動観察>	・友だちと協力し、見ている人の方を向きながら話そうとしている。 (コ) <行動観察> ・あらすじに合わせ、自分のせりふを大きな声で言っている。 (慣) <行動観察>	・友だちと協力しながら相手意識を持って順序よく話そうとしている。 (コ) <行動観察・発言>

- 5 本時の目標
・友だちと協力して楽しく劇を発表する。(コ)

6 本時の展開

() は H R T 2 及び支援員の動き

過程・時配	活 動 内 容	H R T 1 ※評価	J T E	教材・教具
Greeting (3)	○全体であいさつした後、リーダーを中心に曜日と天気を確認する。 What day is it today? / It's Friday. How is the weather? / It's sunny. ○ Month song を歌う。	・リーダーを指名する。(2名) ・はじめのあいさつをし、曜日・天気はそれぞれのリーダーにたずねさせる。 ・学習の流れを掲示しておき、児童が見通しを持って取り組めるようにする。(視点1-③) ・活動に意欲を持てるよう、衣装を身につけておく。	・児童とあいさつをする。 ・上手に話せたら、称賛する。	・衣装 ・学習の流れの掲示
Warming up (16)	○ Songs ・フォニックスの歌を歌う。 ○ Phonics ・フォニックスの練習をする。 HAT, RED, OUT, JUMP, ○ Let's listen ・動作をしたり、一緒に発音したりしながら、絵本の読み聞かせを聞く。 ○ Review ・劇で使う言葉のおさらいをする。 ①絵とマッチングさせながら、言葉の読みと綴りを確認する。 MAGIC, STICK, SCHOOL, MATH, STUDY, DRAGON, CALM DOWN, BEAT, ONE, TWO, THREE, FOUR, FIVE, PLUS, ②ワークシートで、1文字ぬけている文字を書く。 ・ □ WO ・ □ AGIC ・ □ CHOOOL ③黒板で答え合わせをする。	・身振りをつけながら一緒に歌う。 ・児童と一緒に発音する。 (読み方のわからない児童と一緒に発音する。退室してしまう児童には、付き添いながら活動の流れを伝達する。) ・J T E の読み聞かせに合わせて動作をする。 ・身ぶりを付けながら一緒に発音する。 ・単元を通し、同じ単語を繰り返し練習できるようにする。(視点2-②) ・黒板にカードをはる児童を指名する。 ・とまどっている児童には、そばで発音し支援をする。(視点1-②) (発音だけではわからない児童には、アルファベットを教える。) ・黒板に答えを書く児童を指名する。 ・正しく文字が書けた児童を称賛する。	・身振りをつけながら一緒に歌う。 ・3～4文字の単語について、文字と音が一致するよう、これまでの学習を振り返りながら出題する。 ・『ねずみくんのチョッキ』を英訳した絵本を読む。 ・絵カードと文字カードを提示し、フォニックスの復習をしながら読みと綴りを確認する。(視点2-②) ・とまどっている児童には、そばで発音し支援する。(視点1-②) ・黒板に問題を提示し、答え合わせをする。 ・正しく文字が書けた児童を称賛する。	・掲示物 ・C D ・絵本 ・絵カード ・文字カード ・ワークシート ・1文字欠けた文字カード

Activity (20)	○学習のめあてを確認する。 友だちとなかよく楽しく劇の発表をしよう。 ○用具の準備をし、合図とともに劇をする。 (初めに歌を歌う。) S1: This is our magical school. S2: Let's study math. / OK! S3: Two plus two equal ...? / Four! That's right. One plus two equal ...? / Three! S4: Let's review your magic. / OK! (順にマジックを披露していく。) (自分の順番が来たら「It's my turn.」と言う。) (突然現れた龍に驚く。) S1~10: We can beat dragon. (観客の方に呼びかける) Please help us! Say together! Calm down! (龍に魔法をかけるように) Calm down! Calm down! Huu~. Thank you everyone. See you next time.	・本時のめあてを提示し、意識させる。 ・来年1月25日の学習発表会で発表する劇であること、マジックはみんな楽しみにしてくれていることを伝え、相手意識を持って活動させる。 (視点1-②) ・始まりの合図を出す。活動がスムーズに進むよう、支援する。 (せりふや動きを忘れてしまった児童には、そばで助言をする。)(視点1-②) (退室してしまった児童の部分は、教師が代わりに演じたり、児童に代役をしてもらったりする。) ・観客の方を向いて、大きくはっきり話している児童には、言葉や身振りで称賛する。 ※友だちと協力しながら、相手意識を持って順序よく話している。(コ) <行動観察>	・HRT1と本時のめあてを確認する。 ・活動がスムーズに進むよう、支援する。 ・せりふや動きを忘れてしまった児童には、そばで助言をする。(視点1-②) ・時には観客役となり、拍手をしたり一緒に声を出すなどして児童に意欲を持たせる。	・めあての掲示物 ・マジックの道具 ・CD ・龍の模型
Reflection (5)	○各自のめあてが達成できたか確認する。 ○友だちの発表のよいところを話し合う。	・一人一人、めあてが達成できたか確認していく。それぞれのよくできたところをとりあげ、称賛する。 (視点1-②)	・HRTとともに、よくできたところを称賛する。	・めあての表
Greeting (1)	○リーダーがあいさつをする。 See you next time. Bye bye!	・身振りをつけて、一緒にあいさつする。	・身振りをつけて、一緒にあいさつする。	

【各児童のめあて】

1	1年SE児	はっきりとした発音で、自分のせりふを言うことができる。
2	2年KY児	順番を守って、自分の役を演じることができる。
3	2年SY児	友だちと一緒に、最初から最後まで劇に参加できる。
4	4年OK児	笑顔でせりふを言ったり、身振りをついたりする。
5	4年NK児	劇には参加し、自分のせりふを言ったり、身振りをついたりする。
6	4年BR児	友だちと一緒に、自分のせりふを言ったり、身振りをついたりする。
7	6年SK児	はっきりとした発音で、自分のせりふを言ったり、身振りをついたりする。
8	6年NS児	大きな声で、視線を上げながら、演じることができる。
9	6年MR児	笑顔で、順序よく話したり、大きく動いたりできる。
10	6年YK児	笑顔で、ゆっくりと話したり、大きく動いたりできる。

どんなアルファベットが^い入るかな

NAME _____

① WO

② AGIC

③ CHOOOL

A B C D E F G H I J K L M

N O P Q R S T U V W X Y Z

成果と課題

<成果>

【視点1】 ～ALTとの授業づくり～

- 担任が中心となって授業を進めることができるようになった。
- 担任が評価規準を精選したことによって、授業や児童の評価をしやすくなった。
- 児童がALTやJTEの発音を十分に聞いたことで、音の違いに興味を示すようになった。
- フォニックスを通して、文字を意識する児童が増えた。
- 児童の「書きたい」という思いをもとに活動することで、授業内容に広がりがあった。

【視点2】 ～教育課程の工夫～

- モジュールの時間があつたことで、児童の実態に合った予習や復習ができた。
- 単元の中に、モジュールを位置づけて構成することができた。
- 学年の担任がそろって打ち合わせをすることで、授業内容を共有でき、担任の不安感の解消につながった。
- 授業直後に打ち合わせを設けたことが、次時の効果的な授業づくりにつながった。

【視点3】 ～英語にひたる環境～

- 日頃から英語に触れる環境を作ることで、児童の「読みたい」「書きたい」という気持ちを喚起することができた。
- クラスルームイングリッシュを統一し、その使用に努めたことで、教師の英語に対する不安感が軽減した。

<課題>

【視点1】 ～ALTとの授業づくり～

- 担任の指導力の向上を図り、さらに担任中心の授業づくりを推進する必要がある。

【視点2】 ～教育課程の工夫～

- 授業直後の打ち合わせ時間をすることができない場合の対応を考える必要がある。

【視点3】 ～英語にひたる環境～

- 人的・文化交流、英語を使って活動する場を工夫する必要がある。

1年		2年		3年		4年	
英語活動		英語活動		外国語活動		外国語活動	
単元名	時数	単元名	時数	単元名	時数	単元名	時数
1 あいさつをしよう What's your name.		1 オリエンテーション 1 あいさつをしよう・じゃんけん 1 自分の気分をつたえよう 2 1から10まで数えよう		4 あいさつ・天気・気持ち・動作をおぼえよう ・How are you? ・happy, fine, sleepy ・sit down, stand up 2 曜日をおぼえよう ・Mondayなど 4 自己紹介をしよう ・What's your name? ・My name is ~? 4 国の名前をおぼえよう ・ITALYなど Where are you from?		3 自己紹介をしよう ・What your name? 3 数を書えよう ・How many ~ ? 3 好きなものを書えよう ・I like ~ 4 できるものを書えよう ・What can you do?	
1		5		14		13	
1 What's your name. 1から7までのかぞえよう		1 7月までのまとめ 1 数字であそぼう 1 これは何色? 2 色であそぼう		2 数で遊ぼう ・1~20までの数え方 ・How many ~ ? 2 好きな色を書えよう ・What color do you like? ・色の単語 2 好きな動物を書えよう ・What animal do you like? ・動物の単語 2 好きな食べ物を書えよう ・What food do you like? 4 宝物をしようかいしよう Do you like? Guess who game? 2 クリスマス		4 できるものを書えよう ・What can you do? 7 アルファベット(大文字)を習おう 2 クリスマス ・What do you want for Christmas?	
1		5		14		13	
1 あいさつをしよう What's your name. 1から10までのかぞえよう		1 クリスマスツリーを作ろう 2 体の名前を知ろう 1 わたしの好きな○○		5 ~している の言い方を覚えよう。 ・~ingの単語を覚える。 ・What are you doing?の言い方に慣れよう。 2 まとめ		5 文房具や教室にあるものの名前を 知ろう eraser, deskなど 3 数で遊ぼう ・20~29までの数え方 1 まとめ	
1		4		7		9	
3		14		35		35	

5年

外国語活動

時数	単元名	回数	回数	回数
2	Hello!	1 数字1~30 1 数字1~30	1 数字1~30 1 数字1~30	1 数字1~30 1 数字1~30
2	I'm happy.	1 数字1~30 1 数字1~30	1 数字1~30 1 数字1~30	1 数字1~30 1 数字1~30
4	How many?	1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形)	1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形)	1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形)
5	I like apples.	1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 Do you like soccer?	1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 Do you like soccer?	1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 Do you like soccer?
26				
4	What do you like?	1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物	1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物	1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物
5	What do you want?	1 アルファベット(小文字) 1 アルファベット(小文字) 1 How much 1 How much 1 What do you want?	1 アルファベット(小文字) 1 アルファベット(小文字) 1 How much 1 How much 1 What do you want?	1 アルファベット(小文字) 1 アルファベット(小文字) 1 How much 1 How much 1 What do you want?
4	What's this?	1 物の名前 1 物の名前 1 アルファベット発音 1 アルファベット発音	1 物の名前 1 物の名前 1 アルファベット発音 1 アルファベット発音	1 物の名前 1 物の名前 1 アルファベット発音 1 アルファベット発音
26				
5	I study Japanese.	1 教科 1 教科 1 教科 1 教科 1 自己紹介(教科)	1 教科 1 教科 1 教科 1 教科 1 自己紹介(教科)	1 教科 1 教科 1 教科 1 教科 1 自己紹介(教科)
4	What would you like?	1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理	1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理	1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理
18				
70				

6年

外国語活動

時数	単元名	回数	回数	回数
4	アルファベットクイズを作ろう Do you have "a"?	1 A～Cの文字指導(大文字・小文字) 1 A～Cの文字指導(大文字・小文字)	1 D～Fの文字指導(大文字・小文字) 1 D～Fの文字指導(大文字・小文字)	1 G～Iの文字指導(大文字・小文字) 1 G～Iの文字指導(大文字・小文字)
1	友だちを旅行にさそおう Let's go to Italy. (べちゃん・コスタンレー)	1 J～Lの文字指導(大文字・小文字) 1 J～Lの文字指導(大文字・小文字) 1 S～Uの文字指導(大文字・小文字) 1 S～Uの文字指導(大文字・小文字) 1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前	1 M～Oの文字指導(大文字・小文字) 1 M～Oの文字指導(大文字・小文字) 1 V～Xの文字指導(大文字・小文字) 1 V～Xの文字指導(大文字・小文字) 1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前	1 P～Rの文字指導(大文字・小文字) 1 P～Rの文字指導(大文字・小文字) 1 Y, Zの文字指導(大文字・小文字) 1 Y, Zの文字指導(大文字・小文字) 1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前
4	友達の誕生日を問べよう When is your birthday?	1 序数 1 序数	1 序数 1 序数	1 序数 1 序数
4	できることを紹介しよう I can swim.	1 I can ～. I can't ～. 1 動詞 1 動詞	1 I can ～. I can't ～. 1 動詞 1 動詞	1 I can ～. I can't ～. 1 動詞 1 動詞
25				
4	道案内をしよう Turn right.	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室内名 1 施設名 1 go up go down 1 案内	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室内名 1 施設名 1 go up go down 1 案内	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室内名 1 施設名 1 go up go down 1 案内
3	一日の生活を紹介しよう What time do you get up?	1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗	1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗	1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗
1	ハロウィーン	1 色	1 色	1 色
4	友だちを旅行にさそおう Let's go to Italy. (スタンレーが紹介するスピーチ)	1 形 1 the Frog Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 形 1 the Frog Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 形 1 the Frog Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習
1	クリスマス			
28				
5	オリジナルの物語をつくらう We are good friends.	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they weの使い方	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they weの使い方	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they weの使い方
4	「夢宣言」を紹介しよう What do you want to be?	1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習	1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習	1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習
17				
70				

時間割

外国語活動の時間割は以下のように作成している。4時間目には、各学年2クラスとも専科授業を位置づけ、二人の担任がそろってALTと打ち合わせできるようにしている。

モジュールはALTと一緒にできるよう、2クラスが時間をずらして行っている。例えば、月曜日は、6-1が「モジュール→1時間目」の順、6-2が「1時間目→モジュール」の順で行う。

5年生は、木・金曜日はALTと行うが、あと1日は担任のみで実施する。

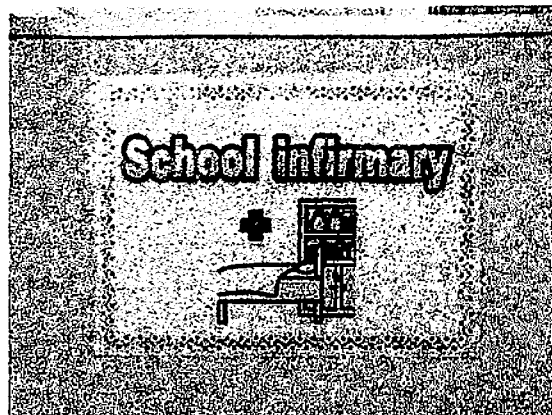
	月	火	水	木	金
モジュール & 1 ※	6-1 6-2	6-1 6-2	6-1 6-2	5-2 5-1	5-2 5-1
2		4-1	6-1	3-1	5-1
3		4-2	6-2	3-2	5-2
4		④打合せ	⑥打合せ	③打合せ	⑤打合せ
5					
6					

表の丸数字は学年（例 ④…4年）

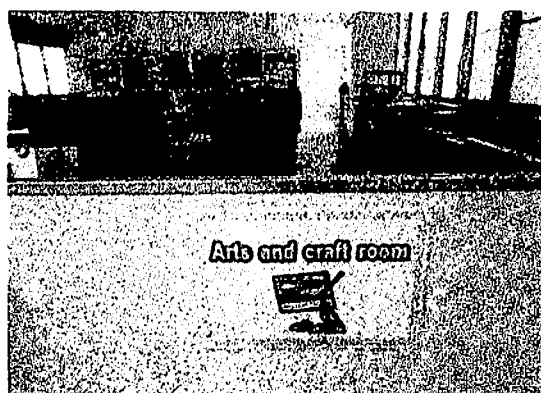
掲示物



(職員室入り口の掲示)



(保健室入り口の掲示)



(図工室入り口の掲示)

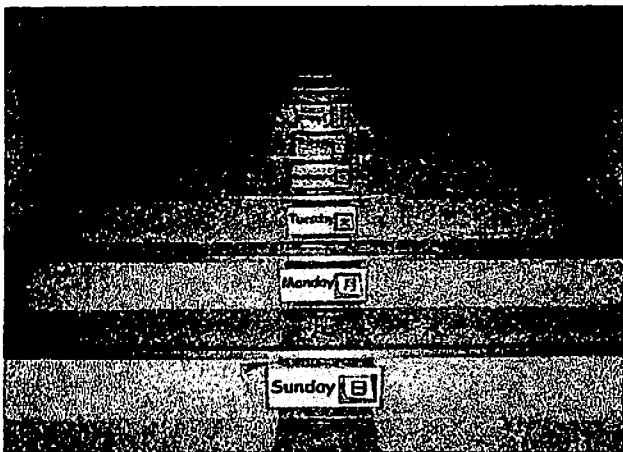
特別教室名を英語で表記している。初めは、かたかなで読み方を加えていたが、正しい発音が損なわれるのではないかという懸念から、英語表記のみに作り直した。日頃利用しながら、英語の綴りに慣れていけるようにしたい。



(保健室の廊下掲示)

保健室の廊下掲示は、養護教諭とともに保健委員会が作成しているが、保健目標などを書く際に、英語での表現を添えている。

その他、図書委員会、児童学校運営委員会などの作成している掲示物にも、英語の表記を取り入れている。



階段に、日常的に使用する単語や、これまで学習した単語・言い回しなどを掲示している。毎日見ることで復習もでき、児童の興味関心を高めることにもつながると考えている。

(階段の掲示)

廊下にアルファベットの大文字と小文字をペアにして掲示している。毎日見ることで、文字の形に慣れていくことをねらっている。



(アルファベットの掲示)



靴箱の使い方を指導する掲示物に、英単語を書き加えている。GOOD はクラスルームイングリッシュでも頻繁に使っている言葉である。いろいろな場面で活用しながら、綴りにも慣れさせたい。

(靴箱の使い方)

【あいさつ】

- ・おはようございます。
- ・こんにちは。
- ・みなさん、こんにちは。
- ・元気ですか。今日の調子はどうですか。
- ・今日は何曜日ですか。
ー金曜日です。
- ・今日の天気はどうですか。
ー晴れています。
- ・今日はこれで終わりです。
- ・また次回会いましょう。
- ・さようなら。
- ・また [月曜日に／来週]会いましょう。

Good morning.
Hello. / Good afternoon.
Hello, everyone.
How are you? How are you today?
What day is it today?
ー It's Friday.
How's the weather today?
ー It's sunny.
That's all for today.
See you next time.
Good-bye. / See you.
See you [on Monday / next week].

【授業の開始】

- ・立ちなさい。
- ・座りなさい。
- ・準備はいいですか。
- ・始めましょう。

Stand up.
Sit down.
Are you ready?
Let's begin.

【ほめる】

- ・正解です。
- ・よくできました。
- ・いいアイデアですね。
- ・すばらしい。いいね。
- ・(どうも) ありがとう。

That's right!
Good! / Great! / Good job!
Good idea!
Wonderful! / Excellent! / Marvelous!
Fantastic! / Super! / Perfect!
Thank you (very much). / Thanks (a lot).

【励ます】

- ・よくがんばったね。
- ・がんばって。
- ・それでいいよ。
- ・落ち着いて。

Nice try! / Good try!
Good luck! / Do your best.
That's good!
Take it easy. / Relax.

【ゲームや活動の開始】

- ・ゲームをしましょう。
- ・歌を歌いましょう。
- ・机をきれいにしなさい。

【ゲームや活動】

- ・並びなさい。
- ・2列になりなさい。
- ・やりたい人はいますか。
- ・答えがわかった人はいますか。
- ・質問はありますか。
- ・他に質問はありますか。
- ・カードを持ってきたさい。

【基本表現】

- ・テキストの6ページを開きなさい。
- ・ワークシートに名前を書きなさい。
- ・線を引きなさい。
- ・CDを聞きなさい。
- ・私の後について繰り返しなさい。
- ・はい、どうぞ。
- ・手を挙げなさい。
- ・こちらに来なさい。
- ・静かにしなさい。
- ・目を閉じなさい。
- ・テキストを閉じなさい。
- ・練習しましょう。
- ・「おなかが痛い」は英語で何と言いますか。

Let's play a game.

Let's sing a song.

Clear your desks.

Line up.

Make two lines.

Any volunteers?

Who knows the answer?

Do you have any questions?

Any other questions?

Bring me a card.

Open your textbook to page six.

Write your name on the worksheet.

Draw a line.

Listen to the CD.

Repeat after me.

Here you are.

Raise your hands.

Come here.

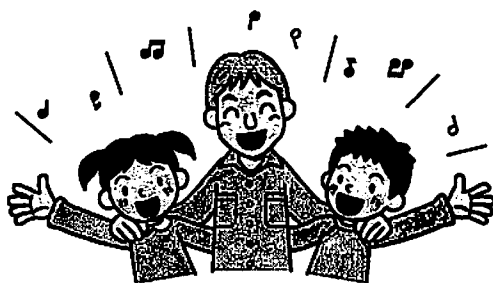
Be quiet.

Close your eyes.

Close your textbook.

Let's practice.

How do you say *onaka ga itai* in English?



外国語アンケート

年 組 なまえ ()

問1. 英語の学習は好きですか。

とても好き () 好き () どちらかといえば好きではない () 好きではない ()

※ 理由を教えてください。(いくつえらんでもいいです。)

「とても好き」「好き」に○をつけた人

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 英語が楽しい () | 2 英語で話すのが得意 () |
| 3 外国の先生と活動できる () | 4 ゲームや歌ができる () |
| 5 外国について知らなかったことを知ることができる () | |
| 6 その他 () | |

「どちらかといえば好きではない」「好きではない」に○をつけた人

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 英語で話すのが苦手 () | 2 英語での活動が好きではない () |
| 3 何を話しているのかわからないから () | 4 ゲームや歌があまり好きではないから () |
| 5 その他 () | |

問2. 学校以外で英語を話す機会がありますか

はい () いいえ ()

※ 「はい」に○をつけた人だけこたえてください。それはどんなときですか

問3. 外国の人に話しかけられたらどうしますか？

知っている英語を使ってこたえる () みぶりを使ってがんばってこたえる ()
だまっている () にげる ()
その他 ()

問4. 学校以外で英語を聞く機会がありますか？

はい () いいえ ()

※ 「はい」に○をつけた人だけこたえてください。聞いた英語は理解できますか？

とてもよくわかる () だいたいわかる ()
あまりわからない () 全然わからない ()

問5. アルファベット (A～Z) が読めますか？ 書けますか？ それぞれえらんでください。

全部読める () だいたい読める () あまり読めない () 全然読めない ()

書ける () 書けない ()

※書ける人は裏に書いてください。(わかるだけでいいです。順序とおりでなくてもかまいません)

小文字 (a~z) でも書けますか？

書ける ()

小文字は知らない ()

問6. 英語で話せることを教えてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| • 数字 1~10 () | • 数字 11~50 () |
| • 数字 50~100 () | • 国の名前 10カ国以上 () |
| • 天気 (3つ以上) () | • 曜日 (全部) () |
| • 月 ※1月~12月全部 () | • スポーツの名前 (8種類) () |
| • くだもの10種類以上 () | • たべもの10種類以上 () |
| • 色 8色以上 () | • 生き物8種類以上 () |

問7. 英語を習っていますか。

はい () いいえ ()

問8. 英語が話せるようになりたいですか。

なりたい () ならなくてもいい ()

それはなぜですか。

問8. 英語の勉強で、不安なことはありますか。

ある () ない ()

※「ある」に○をつけた人だけこたえてください。どんなことが不安ですか？

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 英語がききとれない () | 2 英語が話せない () |
| 3 ゲームや歌がわからない () | 4 人前で話すのがはずかしい () |
| 5 その他 () | |

1~5年生は、ここまでで終わりです。

6年生だけこたえてください。

問. 中学校での英語の学習は楽しみですか。

はい () いいえ ()

それはなぜですか。

アルファベット大文字 (A~Z)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26				

アルファベット小文字 (a~z)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26				